

特定非営利活動法人
日本ジオパークネットワーク
理事長 米田 徹 様

認知度調査 不満改善調査 報告書

2019年3月31日
一般社団法人地域経営推進センター
代表理事 中村 健

認知度調査/不満改善調査 2018 の概要

I. 調査の目的

「ジオパーク活動が、ジオパークがある地域の住民やそれ以外に住む一般市民にどの程度認知されているのか」などの把握のため、インターネットを使ったアンケート調査を実施して現状確認をし、訪問者がジオパークを訪問した際に感じた不満足点を明らかにする。

本調査では、「ジオパークは認知されているか」「ジオパークの訪問者は、どういう点に不満足を感じているか」を検討課題として設定とし、「ジオパーク」自体の認知度と訪問・再訪問希望の度合、不満点の抽出につながる意識調査・分析を行い、上記検討課題について考察する。

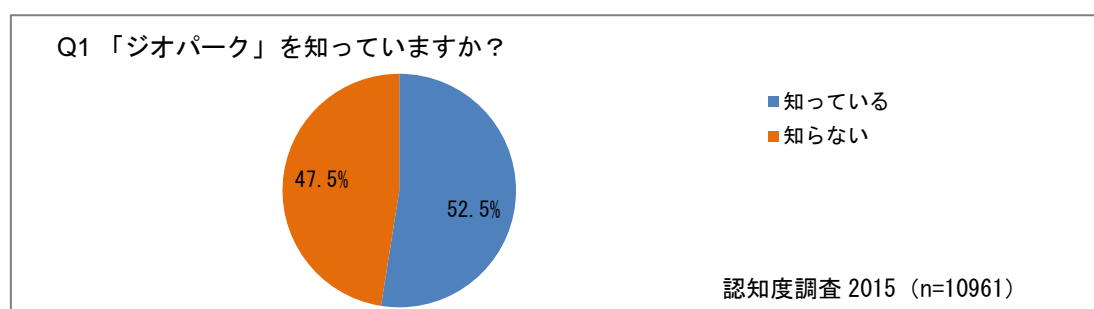
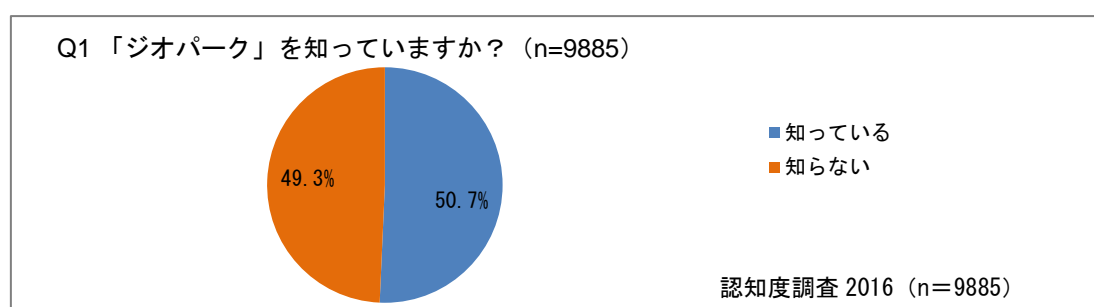
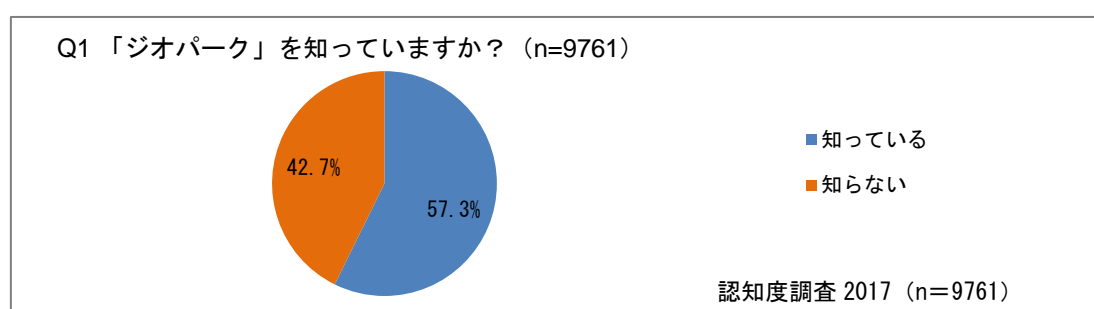
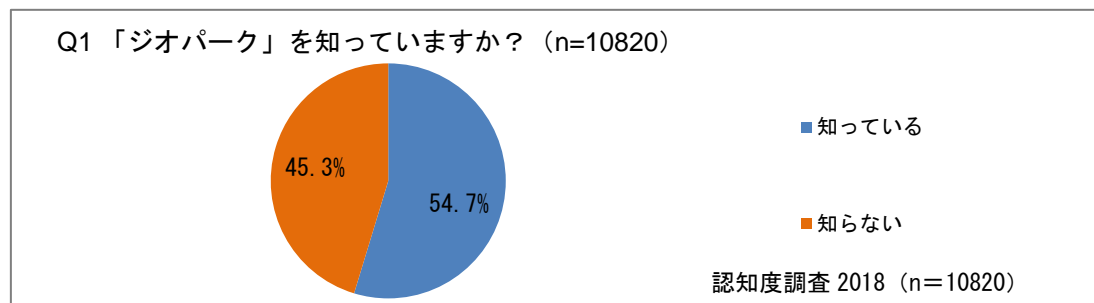
なお、前回から 18 歳以上を対象としている。また、前は主に「満足」をテーマとして調査を実施したが、今回は「不満」をテーマとして調査している。

II. 認知度調査 2018 の概要

■調査名	ジオパーク認知度調査 2018
■調査方法	インターネット調査
■実施期間	2019 年 1 月 18 日～1 月 24 日
■調査対象	全国の男女 18 歳以上 ※各都道府県で 100 回答以上は回収できるよう設定。
■全回答数	11,074 回答
■有効サンプル数	10,820 回答

III. 認知度調査 2018 の分析

[1] 全国認知度調査



■回答の特徴

およそ1万人に「ジオパークを知っているか？」と調査した結果、ジオパークを「知っている」と回答したのは、前回と比べ微減の54.7%だった。

性別・年代別の結果からみると、前回は特に女性の若い層でジオパークの認知度が向上したが、今回は大きな変化は見られなかった。

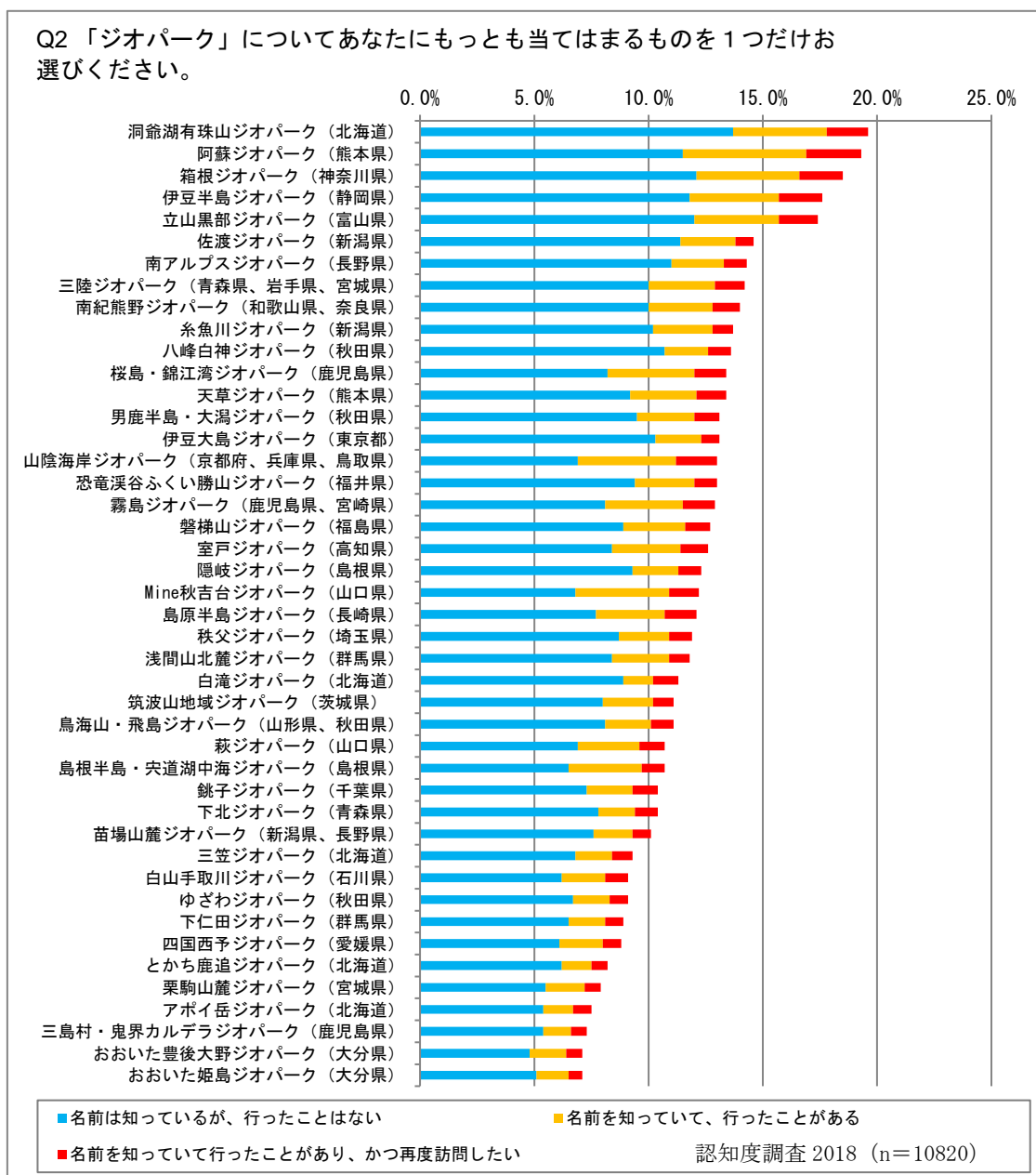
Q1「ジオパーク」を知っていますか？

	n	Q1	
		■ 知っている	■ 知らない
全体	10820	54.7%	45.3%
北海道	559	53.7%	46.3%
東北地方	943	61.6%	38.4%
関東地方	3129	49.2%	50.8%
中部地方	1851	54.5%	45.5%
近畿地方	1918	52.4%	47.6%
中国地方	676	64.9%	35.1%
四国地方	503	66.0%	34.0%
九州地方	1241	57.6%	42.4%
男性19歳以下	17	47.1%	52.9%
男性20～29歳	166	42.8%	57.2%
男性30～39歳	470	49.6%	50.4%
男性40～49歳	1079	54.8%	45.2%
男性50～59歳	1696	61.6%	38.4%
男性60歳以上	1973	71.8%	28.2%
女性19歳以下	40	22.5%	77.5%
女性20～29歳	716	36.7%	63.3%
女性30～39歳	1121	37.2%	62.8%
女性40～49歳	1391	45.4%	54.6%
女性50～59歳	1309	54.8%	45.2%
女性60歳以上	842	61.4%	38.6%

認知度調査 2018 (n=10820)

また、地域別でクロス集計をすると、地域的な傾向はほぼ前年度と変わらず、四国地方と中国地方、東北地方が6割超。九州地方、中部地方、北海道が5割強で続いた。一方、都市圏が集中する近畿地方、関東地方はやや認知度が低い傾向があった。

[2] ジオパークごとの認知度



■ 回答の特徴

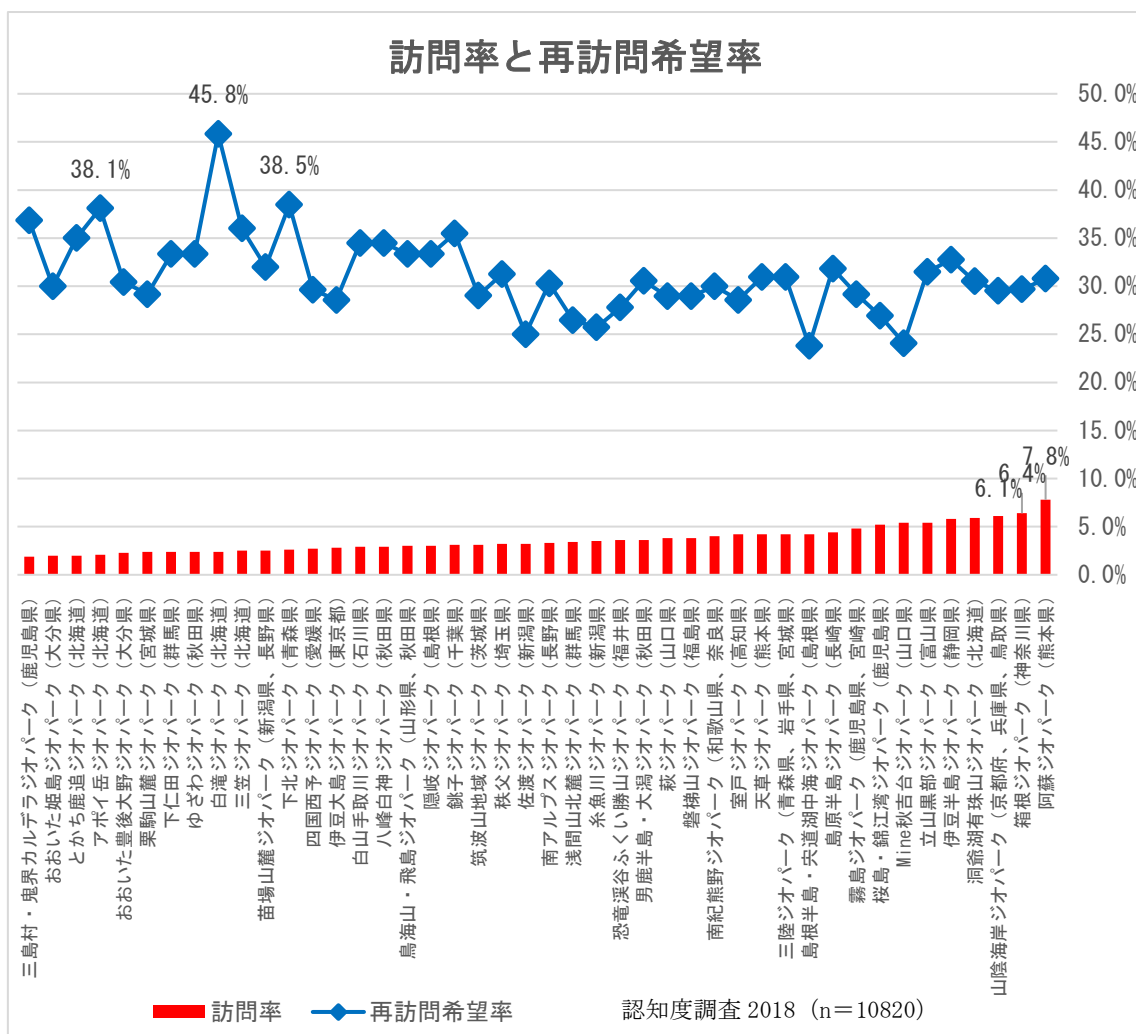
ジオパーク 44 か所を対象に、「認知度」と「訪問経験」、および「再訪問希望」の有無を聞いている。なお、前回は「箱根」のように「地域名のみ」を記載していたが、今回からジオパークの正式名称を記載するようにしたため、前回とは単純比較ができない。

図では『認知度』（「名前を知っているが、行ったことはない」＋「名前を知っていて、行ったことがある」＋「行ったことがあり、かつ再度訪問したい」）の多い順で並べているが、「洞爺湖有珠山ジオパーク（北海道）」が 19.6%と最も多く、次に「阿蘇ジオパーク（熊

本県)」が 19.3%、「箱根ジオパーク（神奈川県）」は 18.5%と続いた。

また、「訪問率」は以下の図で示している。内訳は、「阿蘇ジオパーク（熊本県）」が 7.8%、「箱根ジオパーク（神奈川県）」「山陰海岸ジオパーク（京都府、兵庫県、鳥取県）」の順だった。さらに「訪問経験」のうち「再訪問したい」と答えた回答の割合をみた「再訪問希望」の割合も見ている。これによると、「白滝ジオパーク（北海道）」が 45.8%、「下北ジオパーク（青森県）」が 38.5%、「アポイ岳ジオパーク（北海道）」が 38.1%だった。

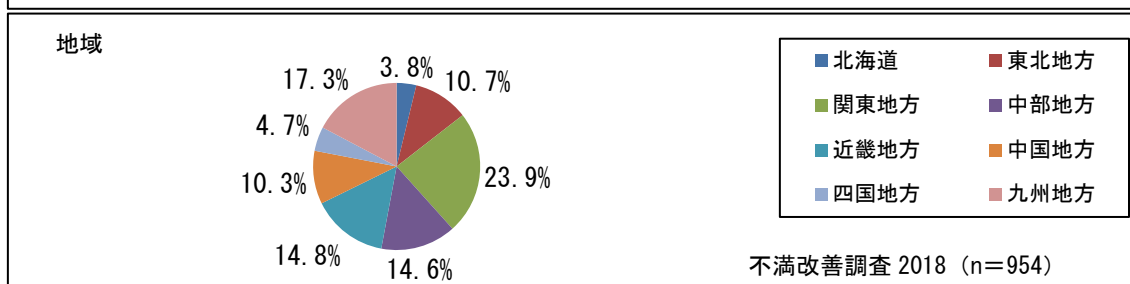
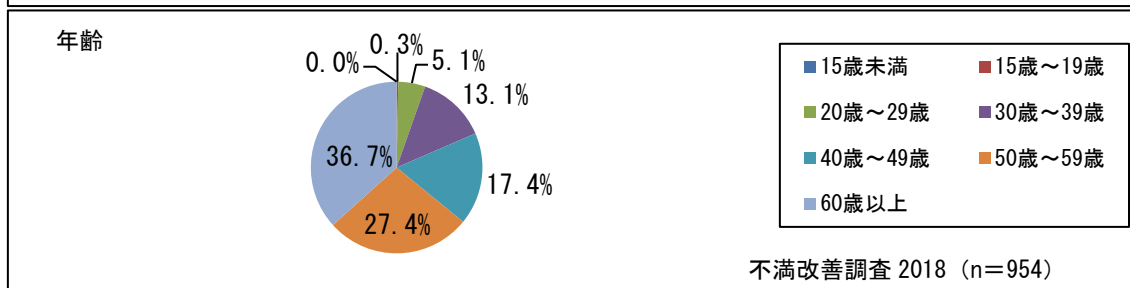
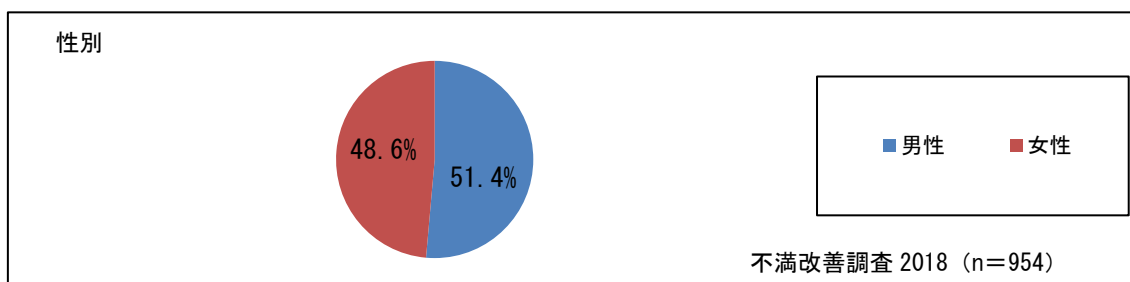
訪問の割合が高い地域でも再訪問希望が必ずしも高いとは限らない。また、逆に訪問が少なくても再訪問希望が高い地域もある。訪問経験を促すこと、さらに再訪問したくなる訪問経験などは様々な工夫が考えられるだろう。前年度の気づきにもつながるが、現在はテレビ番組「ブラタモリ」のように地質などへの関心が高まっている時期でもあるので、再訪問希望が高い地域の魅力や工夫を学び、口コミや SNS でのシェアにつながる如果能够、よく多くの認知や訪問につなげるチャンスであると言える。



IV. 不満改善調査 2018 の概要

■ 調査名	ジオパークを目的に訪問したことのある層(訪問者層)の不満足意識に関する調査
■ 調査方法	インターネット調査
■ 実施期間	2019年1月31日～2月8日
■ 調査対象	認知度調査で「ジオパークを訪問したことがある」(「名前を知っていて、行ったことがある」+「行ったことがあり、かつ再度訪問したい」と回答した人のうち、複数地域に訪問したと回答した1,582人
■ 回収数	1,096回答
■ 有効サンプル数	954回答

▽回答者属性



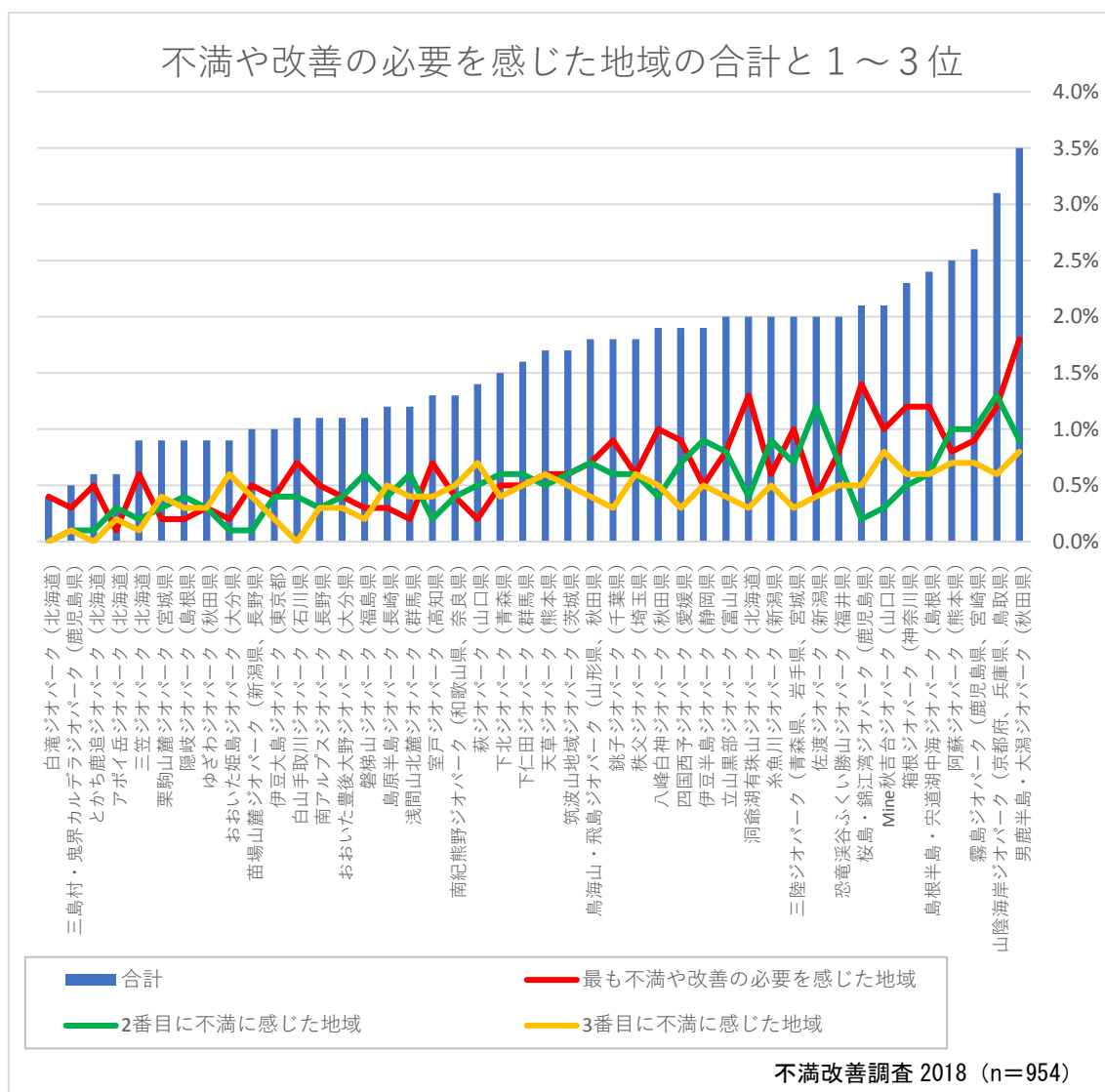
■回答者属性の特徴と留意点

男女比はほぼ半数だが、年代でみると50歳代、60歳以上で半数を超えている。ジオパークの認知度が高い層に回答者が寄っていることは分析上で考慮すべき点である。一方、地域別では、おおむね実際の各地方別人口の割合に近い数字となった。

V. 不満改善調査 2018 の分析

[1] ジオパークに訪問したことのある層(訪問者層)に対する意識調査 (n=954)

Q1 あなたが行ったことのある「ジオパーク」の中で、最も不満や改善の必要を感じた地域、2番目に不満を感じた地域、3番目に不満を感じた地域をそれぞれ選んでください。(n=954)



■回答の特徴

訪問したジオパークのうち不満を感じた地域を聞いている。図では、不満や改善を感じた1～3位のそれぞれの割合、そしてその合計を表している。なお、不満がある地域について「該当なし」としたのが70.6%であり、多くの訪問者は不満を持っていないことは最

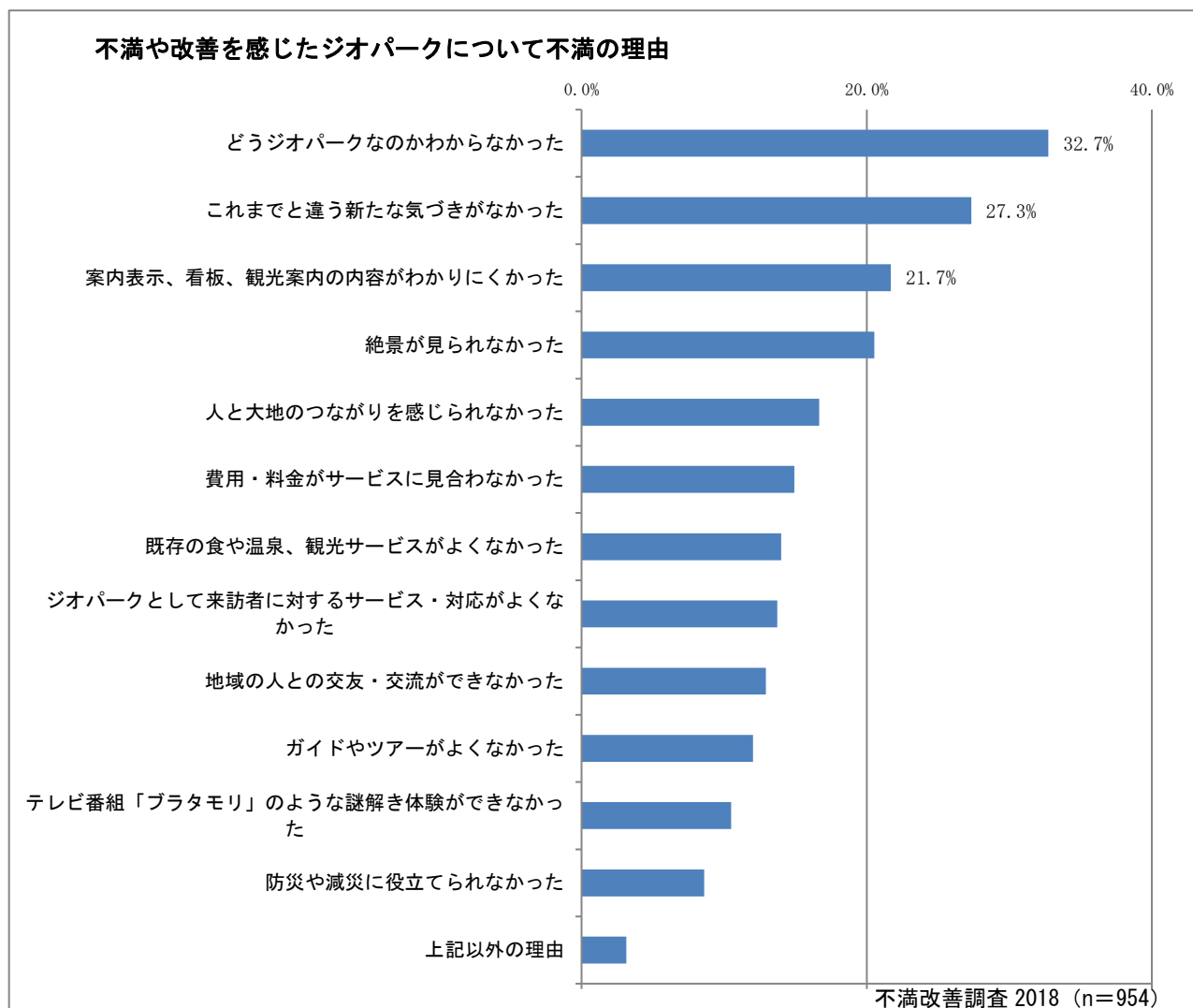
初に記しておきたい。

回答があったなかでもっとも多かったのは、「男鹿半島・大潟ジオパーク(秋田県)」3.5%、その次に「山陰海岸ジオパーク(京都府、兵庫県、鳥取県)」が3.1%、「霧島ジオパーク(鹿児島県、宮崎県)」が2.6%と続いた。割合が高めだった6位まで記載すると、次に「阿蘇ジオパーク(熊本県)」、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク(島根県)」、「箱根ジオパーク(神奈川県)」となった。それ以降はほぼ横ばいといってもいいだろう。

最初に記載した通り、多くのジオパーク訪問者はほぼ不満を持っていない。とはいえ、「不満がある」ということを知るのは、各ジオパークにとって、より満足のいくジオパークづくりにつながるであろう。

それでは、具体的にどのような不満点があるのか。このあと明らかにしていきたい。

Q2-4 問1で選んだ「行ったことのある『ジオパーク』の中で最も、2番目に、3番目に不満や改善の必要を感じた地域」について、あなたが不満を感じた理由は何ですか。不満だった理由に近いものを【すべて】お選びください。(n=954)



■回答の特徴

ジオパークに対する不満の理由を聞いている。もっとも多かったのは、「どうジオパークなのかわからなかった」が32.7%、「これまでと違う新たな気づきがなかった」が27.3%、「案内表示、看板、観光案内の内容がわかりにくかった」が21.7%で続いた。

なお、自由回答の中で「地元なのでよく見慣れている風景」「何度か行ったことがある」等の意見があった。このことから、近隣のジオパークに訪問した人の多くがアンケートの回答をしていることがわかる。その結果、近隣のジオパークでは「ジオパークとしての魅力」を感じにくい傾向にあるのではないかと推察される。ジオパークの認知度の問題とも絡みあい、近所だからこそ知っているジオパークを訪れても「どうジオパークなのかわからない」とい

う不満が出てくると考えられる。同様に、近場の既に知っているジオパークを訪問しても「新たな気付き」が中々出てこないことは理解できる。

また、以下の表ではジオパークの不満理由を合計し、それぞれ表で表している。なお、本設問では不満を感じた地域のうち1～3位に当てはまるものを選択する形式で聞いているが、集計では単純に足し合わせて合計しているため、回答数は全体の n=954 ではなく、n=688 である。

全体と比べて特に高かったものを挙げれば、「男鹿半島・大潟ジオパーク」は「絶景」「食や温泉、観光」「ガイドやツアー」への不満、「山陰海岸ジオパーク」は「絶景」や「案内表示、看板、観光案内」、また「霧島ジオパーク」は「人と大地のつながり」、「阿蘇ジオパーク」は「来訪者に対するサービス・対応」、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」は「案内表示、看板、観光案内」などが不満としてあがった。

本来、不満について有益な分析をしようとするれば、理想と現実のギャップを聞くべきであろう。その意味で言えば、不満の改善のためには、ジオパークに「何を期待して訪問したか」を聞いたうえで、それに対する不満を聞くべきであった。可能な範囲で有益な分析になるよう、前年度で聞いたそれぞれのジオパークの「満足の理由」と比較分析をした。それぞれジオパークごとに不満点が違うので、ぜひ参考にして不満改善につなげてほしい。

地域ごとの不満点 2018	n	Q2											
		来訪者に対するサービス・対応がよくなかった	費用・料金がサービスに見合わなかった	ガイドやツアーがよくなかった	案内表示、看板、観光案内の内容がわかりにくかった	既存の食や温泉、観光サービスがよくなかった	人と大地のつながりを感じられなかった	地域の人との交友・交流ができなかった	これまでと違う新たな気づきがなかった	どうジオパークなのかわからなかった	「プラタモリのような謎解き体験ができなかった	絶景が見られなかった	防災や減災に役立てられなかった
全体	688	13.7%	15.1%	12.1%	22.2%	14.0%	16.4%	12.9%	27.0%	33.3%	10.6%	20.8%	8.4%
男鹿半島・大潟ジオパーク	34	11.8%	8.8%	20.6%	11.8%	23.5%	11.8%	14.7%	29.4%	44.1%	8.8%	26.5%	8.8%
山陰海岸ジオパーク	29	10.3%	17.2%	6.9%	27.6%	3.4%	0.0%	10.3%	27.6%	41.4%	13.8%	31.0%	3.4%
霧島ジオパーク	26	11.5%	11.5%	3.8%	7.7%	11.5%	19.2%	3.8%	30.8%	38.5%	7.7%	15.4%	3.8%
阿蘇ジオパーク	25	24.0%	8.0%	8.0%	12.0%	20.0%	24.0%	16.0%	20.0%	24.0%	16.0%	36.0%	4.0%
島根半島・宍道湖中海ジオパーク	23	8.7%	17.4%	0.0%	26.1%	8.7%	13.0%	8.7%	26.1%	43.5%	8.7%	26.1%	4.3%

※不満の回答合計が多かった1～5位を表示。うち全体と比較し値が高いものは赤く強調した。

※セルが赤地のところは数字が大きく、青地は数字が小さいことを表している。

※ご参考：不満の回答合計が多かった6～25位までの表を掲載

地域ごとの不満点 2018	n	来訪者に対するサービス・対応がよくなかった	費用・料金がサービスに見合わなかった	ガイドやツアーがよくなかった	案内表示、看板、観光案内の内容がわかりにくかった	既存の食や温泉、観光サービスがよくなかった	人と大地のつながりを感じられなかった	地域の人との交友・交流ができなかった	これまでと違う新たな気づきがなかった	どうジオパークなのかわからなかった	「プラタモリ」のような謎解き体験ができなかった	絶景が見られなかった	防災や減災に役立てられなかった
全体	688	13.7%	15.1%	12.1%	22.2%	14.0%	16.4%	12.9%	27.0%	33.3%	10.6%	20.8%	8.4%
箱根ジオパーク	22	13.6%	22.7%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	27.3%	4.5%	18.2%	0.0%
Mine 秋吉台ジオパーク	21	0.0%	19.0%	14.3%	4.8%	19.0%	9.5%	19.0%	47.6%	28.6%	14.3%	19.0%	4.8%
恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク	20	5.0%	0.0%	10.0%	35.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	40.0%	10.0%	15.0%	0.0%
桜島・錦江湾ジオパーク	20	10.0%	10.0%	5.0%	25.0%	0.0%	15.0%	20.0%	30.0%	25.0%	5.0%	5.0%	10.0%
三陸ジオパーク	20	10.0%	20.0%	20.0%	40.0%	10.0%	25.0%	15.0%	25.0%	25.0%	10.0%	30.0%	10.0%
糸魚川ジオパーク	20	10.0%	10.0%	5.0%	30.0%	15.0%	10.0%	15.0%	30.0%	35.0%	20.0%	5.0%	15.0%
立山黒部ジオパーク	20	25.0%	30.0%	20.0%	35.0%	10.0%	20.0%	10.0%	15.0%	20.0%	5.0%	20.0%	5.0%
伊豆半島ジオパーク	19	10.5%	26.3%	21.1%	21.1%	10.5%	26.3%	0.0%	10.5%	47.4%	0.0%	26.3%	5.3%
佐渡ジオパーク	19	15.8%	10.5%	15.8%	10.5%	5.3%	21.1%	10.5%	31.6%	31.6%	10.5%	31.6%	0.0%
四国西予ジオパーク	19	15.8%	15.8%	21.1%	10.5%	10.5%	10.5%	15.8%	36.8%	26.3%	21.1%	21.1%	0.0%
洞爺湖有珠山ジオパーク	19	10.5%	21.1%	21.1%	26.3%	21.1%	31.6%	15.8%	26.3%	36.8%	15.8%	15.8%	21.1%
八峰白神ジオパーク	19	5.3%	21.1%	5.3%	15.8%	15.8%	21.1%	15.8%	31.6%	42.1%	10.5%	21.1%	5.3%
秩父ジオパーク	18	5.6%	11.1%	5.6%	22.2%	5.6%	16.7%	5.6%	27.8%	27.8%	11.1%	16.7%	16.7%
銚子ジオパーク	18	38.9%	16.7%	0.0%	22.2%	38.9%	22.2%	5.6%	38.9%	22.2%	5.6%	33.3%	5.6%
鳥海山・飛島ジオパーク	18	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	16.7%	16.7%	44.4%	11.1%	27.8%	5.6%
筑波山地域ジオパーク	17	5.9%	23.5%	17.6%	29.4%	29.4%	17.6%	11.8%	23.5%	29.4%	0.0%	23.5%	11.8%
天草ジオパーク	17	17.6%	11.8%	5.9%	17.6%	5.9%	11.8%	5.9%	35.3%	23.5%	5.9%	5.9%	5.9%
下仁田ジオパーク	16	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	18.8%	18.8%	6.3%	25.0%	56.3%	6.3%	12.5%	0.0%
下北ジオパーク	15	20.0%	33.3%	40.0%	40.0%	33.3%	26.7%	20.0%	13.3%	40.0%	20.0%	33.3%	13.3%
萩ジオパーク	14	14.3%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%	28.6%	7.1%	14.3%	35.7%	14.3%	28.6%	0.0%

※セルが赤地のところは数字が大きく、青地は数字が小さいことを表している。

※ご参考：不満の回答合計が多かった 26～44 位までの表を掲載

地域ごとの不満点 2018	n	来訪者に対するサービス対応がよくなかった	費用・料金がサービスに見合わなかった	ガイドやツアーがよくなかった	案内表示、看板、観光案内の内容がわかりにくかった	既存の食や温泉、観光サービスがよくなかった	人と大地のつながりを感じられなかった	地域の人との交友・交流ができなかった	これまでと違う新たな気づきがなかった	どうジオパークなのかわからなかった	「プラタモリ」のような謎解き体験ができなかった	絶景が見られなかった	防災や減災に役立てられなかった
全体	688	13.7%	15.1%	12.1%	22.2%	14.0%	16.4%	12.9%	27.0%	33.3%	10.6%	20.8%	8.4%
室戸ジオパーク	13	15.4%	15.4%	0.0%	38.5%	23.1%	15.4%	7.7%	15.4%	46.2%	15.4%	15.4%	7.7%
南紀熊野ジオパーク	13	7.7%	15.4%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%
浅間山北麓ジオパーク	12	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	8.3%	8.3%	41.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%
島原半島ジオパーク	12	8.3%	8.3%	25.0%	41.7%	8.3%	16.7%	8.3%	33.3%	41.7%	25.0%	8.3%	25.0%
おおいた豊後大野ジオパーク	11	0.0%	0.0%	0.0%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	45.5%	0.0%	27.3%	18.2%
南アルプスジオパーク	11	9.1%	0.0%	18.2%	27.3%	27.3%	9.1%	27.3%	63.6%	36.4%	0.0%	18.2%	18.2%
白山手取川ジオパーク	11	9.1%	9.1%	9.1%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%	54.5%	27.3%	9.1%	18.2%	0.0%
磐梯山ジオパーク	11	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	9.1%	36.4%	9.1%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%
伊豆大島ジオパーク	10	10.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	10.0%
苗場山麓ジオパーク	10	30.0%	20.0%	10.0%	10.0%	10.0%	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	0.0%	30.0%	10.0%
おおいた姫島ジオパーク	9	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%
ゆざわジオパーク	9	22.2%	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	22.2%	44.4%	33.3%	11.1%	22.2%
隠岐ジオパーク	9	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
栗駒山麓ジオパーク	9	22.2%	22.2%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	44.4%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%
三笠ジオパーク	9	11.1%	33.3%	11.1%	33.3%	22.2%	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%
アポイ岳ジオパーク	6	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%
とちか鹿追ジオパーク	6	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%
三島村・鬼界カルデラジオパーク	5	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
白滝ジオパーク	4	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%

※セルが赤地のところは数字が大きく、青地は数字が小さいことを表している。

■回答の特徴

今回調査した「不満の理由」だが、それだけで分析するのではなく、前回の「満足度の理由」（次のページに掲載）をあわせて分析してみたい。なお、前述の通り、地域名をジオパーク名に変更したため、本来は単純比較になじまない点は確認したい。

今回の調査で不満の割合が高かった順でいえば、「男鹿半島・大潟ジオパーク」は「絶景が見られなかった」「食や温泉、観光がよくなかった」「ガイドやツアー」への不満が挙がっていた。一方、前年の調査から明らかになった満足の理由は「これまでと違う新たな気づきがあった」「『ブラタモリ』のような謎解き体験ができた」が挙がった。

「山陰海岸ジオパーク」は「絶景が見られなかった」や「案内表示、看板、観光案内がわかりづらい」「どうジオパークなのかわからなかった」といった不満の声があった。だが、「ジオパークを満喫できた」「ガイドやツアーがよかった」といった満足点が挙がるなど、ジオパークとしての付加価値をしっかりと提供していることがわかる。

「霧島ジオパーク」は「人と大地のつながりが感じられなかった」と不満の理由が挙がった。また、満足の割合も一定程度高かったが、満足の理由は突出したものがなく、「絶景を見ることができた」もやや高かった程度だった。

「阿蘇ジオパーク」は不満の種類が多様だった。「来訪者に対するサービス・対応」「既存の食や温泉、観光サービスがよくなかった」「人と大地のつながりを感じられなかった」「地域のひととの交友・交流ができなかった」「絶景が見られなかった」が不満として挙がった一方で、満足の理由は「人と大地のつながりを感じられた」「絶景を見ることができた」の値が高かった。「人と大地のつながり」「絶景」については、満足度の理由としても不満の回答としても挙がっている。これからわかることは、阿蘇ジオパークに対して絶景を見ることができ、大地のつながりを感じるなど「満足」を得られた訪問者がいる一方で、満足を得られず「不満」を覚えた訪問者がいたということだろう。

また、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」は「案内表示、看板、観光案内」「どうジオパークなのかわからなかった」などが不満としてあがった。その一方で、「既存の食や温泉、観光サービスがよかった」との満足の声が大変高い。さらに「これまでと違う新たな気づきがあった」といった理由も挙がった。

ここで大事なのは、こうした訪問者の声をしっかりと受け止めることも必要な一方で、そもそも各々のジオパークがどのような地質的特徴や魅力を持ち、それをどのように訪問者にアピールしているのか、ということである。今回の調査を単純に訪問者の満足点、不満点として見てそのまま反映するのではなく、「自らのジオパークはこういう魅力を持っており、訪問者にこういう体験をしてほしい」という思いや狙いがあったうえで、どの点が課題で、どれが特色を伸ばす施策なのか、優先順位をつけ取り組むことが求められる。

こうした“ありたい姿”と、前回調査した「満足度の理由」はしっかりマッチしているのか。また、“ありたい姿”と今回の不満の理由の間でギャップはあるのかを意識して、どの意見を受け止めて施策に反映させるかを検討いただきたい。

※参考：満足・不満調査 2017 よりジオパークの「満足度の理由」 1/2

地域ごとの満足 2017	n	Q2											
		ジオパークとして来訪者に対するサービス・対応がよかった	費用・料金以上のサービス内容だった	ガイドやツアーがよかった	案内表示、看板、観光案内の内容がわかりやすかった	既存の食や温泉、観光サービスがよかった	人と大地のつながりを感じられた	地域の人との交友・交流ができた	これまでと違う新たな気づきがあった	ジオパークを満喫できた	「ブラタモリ」のような謎解き体験ができた	絶景を見ることができた	防災や減災に役立てることができた
全体	2784	6.8%	9.4%	7.0%	13.3%	31.2%	24.9%	8.9%	17.0%	19.6%	4.7%	53.7%	4.4%
箱根	253	6.3%	8.7%	3.2%	19.8%	55.3%	17.4%	6.3%	12.6%	13.0%	3.2%	39.5%	2.0%
阿蘇	236	3.8%	5.5%	5.1%	12.3%	32.2%	31.4%	4.7%	13.6%	19.9%	1.7%	73.3%	2.5%
立山黒部	196	7.1%	7.1%	8.2%	12.2%	23.5%	27.6%	4.1%	14.3%	21.4%	3.1%	82.1%	1.5%
洞爺湖有珠山	165	7.9%	7.3%	10.3%	14.5%	30.3%	24.8%	10.9%	18.8%	24.2%	8.5%	60.0%	9.1%
伊豆半島	165	4.8%	10.3%	6.1%	16.4%	50.9%	18.8%	8.5%	14.5%	14.5%	2.4%	47.9%	1.2%
南アルプス	133	8.3%	8.3%	7.5%	12.0%	26.3%	32.3%	9.0%	13.5%	18.8%	6.0%	61.7%	2.3%
南紀熊野	112	1.8%	7.1%	3.6%	9.8%	29.5%	26.8%	7.1%	19.6%	17.9%	2.7%	59.8%	0.0%
三陸	100	4.0%	12.0%	3.0%	14.0%	34.0%	25.0%	16.0%	14.0%	20.0%	4.0%	63.0%	10.0%
山陰海岸	85	7.1%	9.4%	11.8%	12.9%	32.9%	20.0%	9.4%	11.8%	25.9%	3.5%	63.5%	4.7%
磐梯山	83	7.2%	7.2%	3.6%	8.4%	22.9%	27.7%	4.8%	14.5%	16.9%	4.8%	49.4%	2.4%
男鹿半島・大湊	81	7.4%	11.1%	6.2%	14.8%	16.0%	22.2%	9.9%	21.0%	17.3%	11.1%	42.0%	3.7%
Mine 秋吉台	80	8.8%	8.8%	6.3%	12.5%	16.3%	22.5%	6.3%	18.8%	38.8%	3.8%	67.5%	2.5%
桜島・錦江湾	80	3.8%	6.3%	5.0%	10.0%	32.5%	26.3%	11.3%	16.3%	16.3%	2.5%	65.0%	7.5%
霧島	71	4.2%	9.9%	1.4%	4.2%	32.4%	22.5%	4.2%	11.3%	16.9%	0.0%	56.3%	2.8%
八峰白神	67	10.4%	9.0%	11.9%	9.0%	17.9%	10.4%	10.4%	16.4%	16.4%	7.5%	35.8%	10.4%
佐渡	66	12.1%	10.6%	7.6%	12.1%	24.2%	18.2%	10.6%	27.3%	10.6%	3.0%	51.5%	3.0%
秩父	64	4.7%	7.8%	3.1%	9.4%	42.2%	17.2%	7.8%	25.0%	12.5%	3.1%	23.4%	0.0%
室戸	51	3.9%	15.7%	7.8%	11.8%	11.8%	37.3%	13.7%	15.7%	31.4%	5.9%	66.7%	3.9%
下北ジオパーク	49	8.2%	14.3%	14.3%	12.2%	12.2%	16.3%	18.4%	16.3%	24.5%	18.4%	36.7%	14.3%
天草	49	6.1%	12.2%	6.1%	10.2%	51.0%	18.4%	10.2%	8.2%	22.4%	4.1%	59.2%	4.1%
島原半島	48	8.3%	6.3%	6.3%	14.6%	37.5%	35.4%	10.4%	22.9%	12.5%	0.0%	41.7%	10.4%

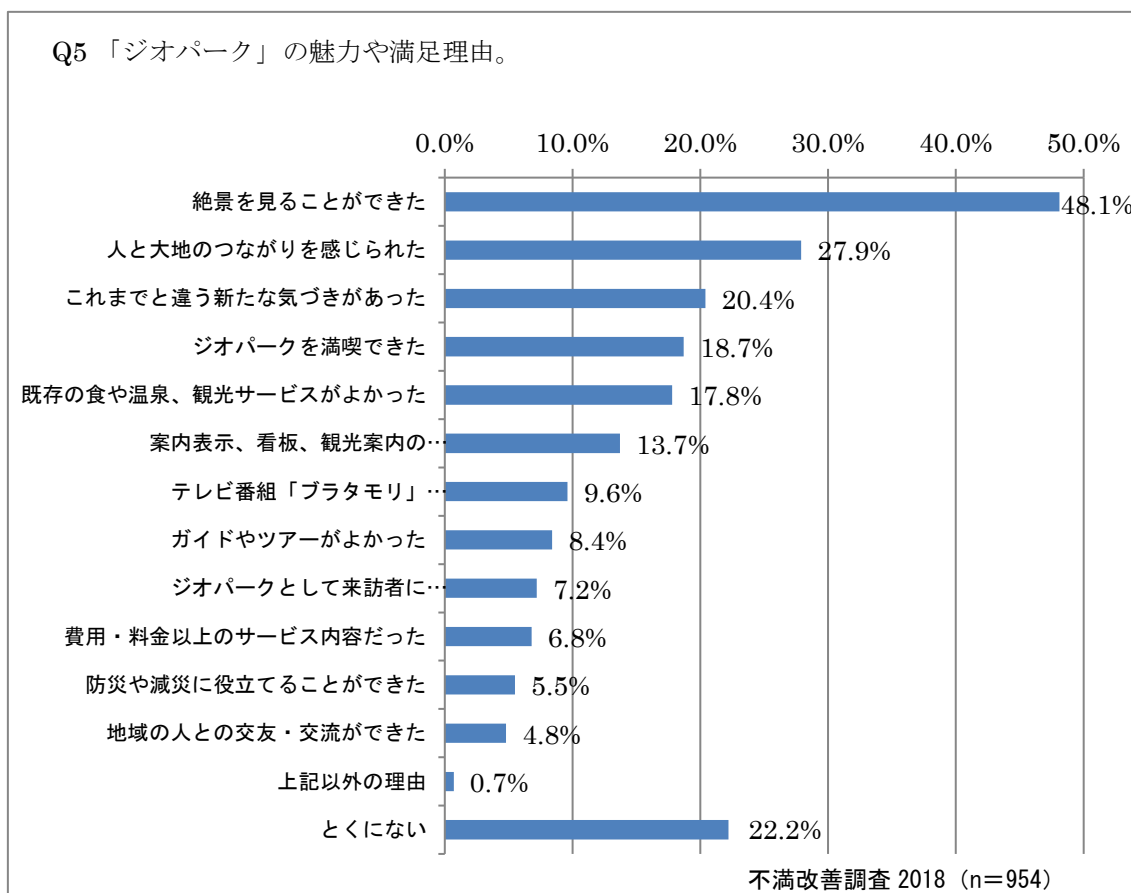
※セルが赤地のところは数字が大きく、青地は数字が小さいことを表している。

※参考：満足・不満調査 2017 よりジオパークの「満足度の理由」 2/2

地域ごとの満足 2017	n	Q2											
		ジオパークとして来訪者に対するサービス・対応がよかった	費用・料金以上のサービス内容だった	ガイドやツアーがよかった	案内表示、看板、観光案内の内容がわかりやすかった	既存の食や温泉、観光サービスがよかった	人と大地のつながりを感じられた	地域の人との交友・交流ができた	これまでと違う新たな気づきがあった	ジオパークを満喫できた	「ブラタモリ」のような謎解き体験ができた	絶景を見ることができた	防災や減災に役立てることができた
全体	2784	6.8%	9.4%	7.0%	13.3%	31.2%	24.9%	8.9%	17.0%	19.6%	4.7%	53.7%	4.4%
銚子	45	4.4%	11.1%	8.9%	8.9%	37.8%	20.0%	11.1%	22.2%	11.1%	8.9%	46.7%	2.2%
白滝	44	9.1%	20.5%	20.5%	15.9%	20.5%	38.6%	20.5%	15.9%	22.7%	9.1%	50.0%	6.8%
アポイ岳	42	19.0%	21.4%	23.8%	14.3%	16.7%	28.6%	7.1%	19.0%	23.8%	16.7%	19.0%	14.3%
鳥海山・飛島ジオパーク	42	2.4%	9.5%	7.1%	14.3%	26.2%	31.0%	7.1%	19.0%	23.8%	0.0%	52.4%	0.0%
島根半島・宍道湖中海	38	2.6%	7.9%	5.3%	7.9%	42.1%	18.4%	13.2%	23.7%	7.9%	7.9%	52.6%	0.0%
とちか鹿追	36	25.0%	13.9%	22.2%	19.4%	25.0%	27.8%	22.2%	27.8%	27.8%	11.1%	41.7%	27.8%
恐竜渓谷ふくい勝山	33	3.0%	18.2%	6.1%	18.2%	6.1%	33.3%	3.0%	24.2%	36.4%	3.0%	18.2%	0.0%
三笠	29	24.1%	13.8%	6.9%	20.7%	27.6%	27.6%	13.8%	24.1%	6.9%	13.8%	20.7%	13.8%
糸魚川	28	0.0%	0.0%	3.6%	25.0%	25.0%	32.1%	3.6%	17.9%	35.7%	3.6%	35.7%	3.6%
苗場山麓	27	7.4%	14.8%	3.7%	7.4%	22.2%	18.5%	11.1%	25.9%	22.2%	3.7%	40.7%	11.1%
隠岐	26	3.8%	11.5%	11.5%	3.8%	30.8%	23.1%	15.4%	34.6%	15.4%	3.8%	57.7%	0.0%
四国西予	23	8.7%	4.3%	4.3%	30.4%	21.7%	21.7%	17.4%	26.1%	30.4%	0.0%	39.1%	0.0%
伊豆大島	22	13.6%	9.1%	9.1%	18.2%	27.3%	40.9%	13.6%	22.7%	18.2%	4.5%	40.9%	0.0%
栗駒山麓	21	4.8%	14.3%	9.5%	9.5%	28.6%	47.6%	4.8%	19.0%	28.6%	4.8%	66.7%	4.8%
浅間山北麓ジオパーク	21	9.5%	14.3%	9.5%	14.3%	19.0%	23.8%	14.3%	23.8%	38.1%	4.8%	38.1%	4.8%
筑波山地域ジオパーク	17	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	41.2%	5.9%	23.5%	11.8%	0.0%	35.3%	11.8%
ゆざわ	14	0.0%	14.3%	7.1%	14.3%	21.4%	21.4%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%
白山手取川	11	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	36.4%	9.1%	27.3%	27.3%	18.2%	9.1%	63.6%	0.0%
おおいた豊後大野	10	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	50.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%
三島村・鬼界カルデラ	9	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%
下仁田	8	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	25.0%	12.5%
おおいた姫島	4	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

※セルが赤地のところは数字が大きく、青地は数字が小さいことを表している。

Q5 あなたが訪問したことのある「ジオパーク」すべてを鑑みて、あなたはどのような点に魅力や満足を感じましたか。あなたの思いに近いと思う理由を【すべて】お選びください。(n=954)



■回答の特徴

問5では、訪問したジオパークについての魅力や満足した点について調査した。それによると、「絶景を見ることができた」という回答が48.1%ともっとも多く、約半数の人がその絶景に満足している。続いて「人と大地のつながりを感じられた」、「これまでと違う新たな気づきがあった」が続いた。

VI. 総括

本稿では、住民や訪問者がジオパークのことをどれくらい知っているか、ジオパークごとの訪問経験、再訪問の希望などを聞いた。さらに訪問者がジオパークへの不満を感じている点を明らかにして、今後の不満点の解決に向けた分析を実施した。

前回と比べて微減だったが、ジオパークを「知っている」と回答したのは、54.7%だった。地域別のクロス集計をみると、四国地方や中国地方、東北地方は認知度が高く、都市圏である近畿地方や関東地方はやや認知度が低い傾向があった。

また、ジオパーク 44 か所を対象に、「認知度」と「訪問経験」、および「再訪問希望」の有無も聞いている。「行ったことがある」の多い順では「洞爺湖有珠山ジオパーク（北海道）」が 19.6%と最も多く、次に「阿蘇ジオパーク（熊本県）」が 19.3%、「箱根ジオパーク（神奈川県）」は 18.5%と続いた。

さらに「訪問率」は、「阿蘇ジオパーク（熊本県）」「箱根ジオパーク（神奈川県）」「山陰海岸ジオパーク（京都府、兵庫県、鳥取県）」の順だった。さらに「訪問経験」のうち「再訪問したい」と答えた回答の割合をみた「再訪問希望」の割合も見ている。これによると、「白滝ジオパーク（北海道）」が 45.8%、「下北ジオパーク（青森県）」が 38.5%、「アポイ岳ジオパーク（北海道）」が 38.1%だった。

訪問の割合が高い地域でも再訪問希望が必ずしも高いわけではなく、逆に訪問が少なくても再訪問希望が高い地域もある。そのため、いかに訪問経験を増やす施策を打つのか、また、いかに再訪問希望を高めるために自らのジオパークの魅力を把握し、それをどう磨き上げていくかが今後は問われていくことだろう。

続いて不満改善調査では、ジオパークを訪問して「不満を感じた地域」について聞いている。もっとも多かったのは、「男鹿半島・大潟ジオパーク（秋田県）」で 3.5%、次に「山陰海岸ジオパーク（京都府、兵庫県、鳥取県）」「霧島ジオパーク（鹿児島県、宮崎県）」が続いた。前述の通り、多くのジオパーク訪問者はほぼ不満を持っていないともいえるが、不満があるということ認識することが、よりよいジオパークづくりにつながるだろう。

なお、ジオパークに対する不満の理由として多かったのは、「どうジオパークなのかわからなかった」が 32.7%、さらに「これまでと違う新たな気づきがなかった」、「案内表示、看板、観光案内の内容がわからなかった」となった。

一方、不満の割合が高かった地域それぞれに、不満の理由が違うことがわかった。全体と比べて特に高かったものを挙げれば、「男鹿半島・大潟ジオパーク」は「絶景」「食や温泉、観光」「ガイドやツアー」への不満、「山陰海岸ジオパーク」は「絶景」や「案内表示、看板、観光案内」、また「霧島ジオパーク」は「人と大地のつながり」、「阿蘇ジオパーク」は「来訪者に対するサービス・対応」、「島根半島・宍道湖中海ジオパーク」は「案内表示、看板、観光案内」などが不満としてあがった。

追加分析として、前年度に調査した「満足の理由」と「不満の理由」の比較分析を試み

たところ、それぞれのジオパークや観光地としての魅力と、不満から抽出できる課題について浮かび上がってきた。

例えば阿蘇ジオパークでは、「人と大地のつながり」「絶景」について、満足度の理由としても不満の回答としても挙がった。これからわかることは、阿蘇ジオパークへ訪問して絶景を見ることができ、大地のつながりを感じるなど「満足」を得られた訪問者がいる一方で、満足を得られず「不満」を覚えた訪問者がいたということだろう。

また、ここで大事なのは、「自らのジオパークはこういう魅力を持っており、訪問者にこういう体験をしてほしい」という思いや狙いがあったうえで、どの点が課題で、どれが特色を伸ばす施策なのかを判断し、意思決定することである。今回の調査を単純に訪問者の満足点、不満点として見てそのまま反映するのではなく、優先順位をつけ施策に取り組むことが求められるだろう。

最後に、訪問したジオパークについての魅力や満足した点についても調査した。それによると、「絶景を見ることができた」という回答が48.1%と最も多く、約半数の人がその絶景に満足している。続いて「人と大地のつながりを感じられた」、「これまでと違う新たな気づきがあった」が続いた。

訪問者といっても、純粋にジオパークを楽しみに来た来訪者と、地質には興味がなく食や温泉、観光などを訪問の目的の中心に据えて来訪する人では、ジオパークに求めるものは違う。そうした中で、ジオパークはどのような体験を来訪者に提供するのか。協議会がジオパーク活動にどのようなものを期待するのかも含め、ジオパークの特徴や持ち味を生かす形で検討いただきたい。

ジオパークごとに地質的特徴や魅力が違うように、訪問者の満足点や不満点は違う。今回の調査を参考に、それぞれの地域で様々な主体とともにどのようなジオパークをつくりあげていくかを対話し、訪問者にどんな体験をいただくかを議論し、住民や訪問者起点に立ったジオパーク体験や案内表示など、不満の改善につなげていただきたい。

以上